

評価シート

耐震	部位	壁	分類	閉鎖型	有効期限	2026年3月31日	評価番号	A-435	
評価技術名称					連絡先	http://www.			
部分開口 構造用合板補強工法					〒				
真壁「上下あき」アルミ材下地					電話	Fax			
概要	技術概要				床、天井間のみをアルミアンクルと構造用合板で補強する工法。				
	技術の特徴				コスト		サンプル構面 18,002 円/kN		
	<ul style="list-style-type: none"> 土壁・天井・床を解体することなく真壁や入隅に施工が可能。 真壁の仕上がりで補強が可能 壁体内に土壁や設備配管等が存在しても施工可能。 				設計見積り例		—		
	公的機関による技術評価・性能証明				実験実施機関		名古屋工業大学		
機関名				その他					
評価番号									
評価取得日									
仕様	適用範囲				写真・図				
	構法	木造在来軸組工法							
	規模	3階建て以下							
	基礎、地盤	特になし							
	適用部位	内外壁							
	その他	特になし							
	主要構成部材の仕様								
	構造用合板 厚 12mm 以上								
	タッピングビス φ3×L30、木ビス(コーススレッド) φ3.8×L32、セルフドリルネジ φ4×L30 のいずれか @100mm 以下、川の字打ち								
	アルミ不等辺アンクル 9×40 t=1.5 またはこれ以上のサイズのもの								
JIS H4100 の A6063-T5 材(アルミ建築構造設計基準で AS110 材)またはこれと同等の強度を有するもの									
木ビス(コーススレッド) φ3.8×L32、先孔 φ3									
アンクル角部を斜め打ち、@100mm 以下									
耐震性能									
評価仕様: アルミアングル下地 真壁仕様									
壁基準耐力		壁基準剛性							
4.16kN/m		584kN/rad./m							
A-111 からの低減係数 α = 0.8									
壁基準耐力 5.2 × 0.8 = 4.16									
設計方法									
①柱接合部による低減									
取付部分が健全であること									
②劣化による低減									
取付部分が健全であること									
施工者指定									
特になし									
その他 旧 A-006									
H28 年度 ビスの種類追加									